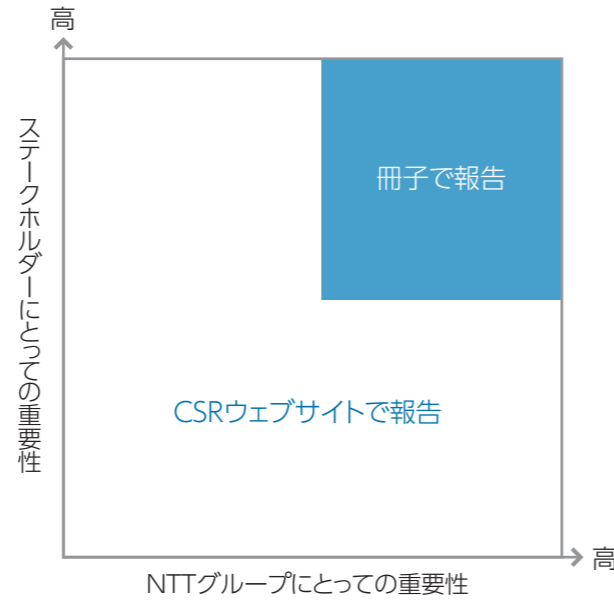


## 編集方針

本報告書は、NTT西日本グループにおける2013年度のCSRに関する取り組みをステークホルダーの皆さまへ報告することにより、NTT西日本グループのCSRについてご理解いただき、コミュニケーションの環を広げることを目的に発行しています。

掲載内容は、2010年に「今一度、CSR活動について考える」をキーワードに、新たなCSR活動の3つの柱「コンプライアンスの徹底」「安心・安全な社会づくり」「事業を通じた価値創造」を構築し、その3つの柱に沿って、ステークホルダーの皆さまにとって重要と思われる情報、NTT西日本グループがお伝えしたい情報を選定して報告しています。



## 参考にしたガイドライン

- GRI※「サステナビリティ・レポート・ガイドライン」3.1版
- 環境省「環境報告ガイドライン2012年版」

※ GRI (Global Reporting Initiative の略) は、企業の「持続可能性報告書」の国際的なガイドラインを発行している国際的組織で、UNEP (国連環境計画) の公認協力機関。世界各国の企業、コンサルタント、NGO、会計士団体、事業者団体などのマルチステークホルダーが参画しています。

## 対象範囲

- 基本的にNTT西日本、NTT西日本グループ28社を対象とし、NTT西日本単体を示す場合は「NTT西日本」と表記しています。
- 対象範囲の異なる場合は個別に記載しています。

## 対象期間

- 2013年4月1日～2014年3月31日
- \* 一部内容に2014年4月以降の活動を含みます。

## 次回発行予定

- 2015年11月

## 報告形態

本誌は、ステークホルダーの皆さまにとって重要と思われる情報、NTT西日本グループがお伝えしたい情報を選定し、環境への配慮から2013年度版の報告書(冊子版)より内容を厳選して掲載しています。

なお、誌面の都合上掲載できなかったさまざまな取り組みや詳細なデータなどは、できる限り詳しく報告できるようにWebサイトで掲載しています。

## CSR関連情報メディア

NTT西日本グループ  
CSR報告書 2014

Webサイト  
<http://www.ntt-west.co.jp/csr/2014/index.html>



## 地球環境保護活動

Webサイト  
<http://www.ntt-west.co.jp/kankyo/>



## CONTENTS



トップコミットメント	3
「スマート光戦略」で挑戦・進化し続け お客さまと新たな価値を共創することが 私たちの“使命”です。	
NTT西日本グループのCSR	5
マネジメント	7
<b>コンプライアンスの徹底</b>	<b>9</b>
コンプライアンス推進	9
<b>TOPICS 2013</b> 人権に関わる標語やポスターを 社員とその家族から募集	10
<b>安心・安全な社会づくり</b>	<b>11</b>
お客さま・地域社会の安心・安全確保	11
<b>TOPICS 2013</b> 有害サイトやサイバー犯罪の脅威 からご家族を“まるごと”守ります	12
被災状況を把握する地図システム	14
社員の安心・安全確保	17
<b>TOPICS 2013</b> 2013 安全大会 in 広島&中国地域	17
<b>事業を通じた価値創造</b>	<b>19</b>
お客さまに対する価値創造	19
<b>TOPICS 2013</b> 「デマンド交通システム」でのドアtoドア送迎 高齢者にやさしい地域公共交通を整備	20
地球環境に対する価値創造	21
<b>TOPICS 2013</b> サプライチェーン全体の 温室効果ガス排出量「スコープ3」	24
地域社会に対する価値創造	25
社員に対する価値創造	27
<b>TOPICS 2013</b> 女性の視点でお客さま満足をさらに向上! 東海事業本部「女性活力推進プロジェクト」	28
NTT西日本の会社概要	29
第三者意見	30